



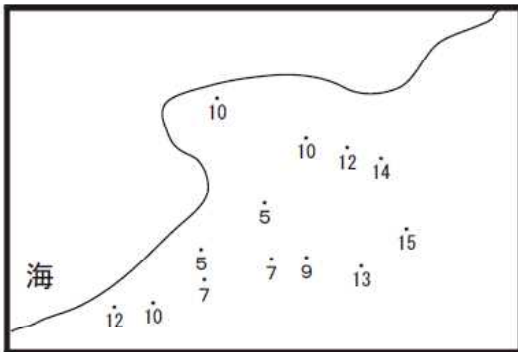
霧島市「今週の1問」
 (中2)(理科)(6)月(1)日版
 H29鹿児島学習定着度調査問題から

名前

図1はある地震が発生したときの、震央と各観測点のゆれ始めの時間差を示しており、また、図2は地震発生から緊急地震速報の仕組みを表しています。なお、緊急地震速報とは、大きなゆれが始まる時刻や震度を予測して、すばやく知らせる予報や警報のことです。次の各問いに答えなさい。

図1 震央と各観測点のゆれ始めの時間差

図2 [緊急地震速報の仕組み]



- ① 地震発生により、波が周囲に伝わる。
- ② 震源近くの地震計がP波をとらえる。
- ③ 気象庁は予想震度などを計算し、緊急地震速報を発表する。
- ④ 気象庁の発表を受けて、テレビなどで緊急地震速報が流れる。

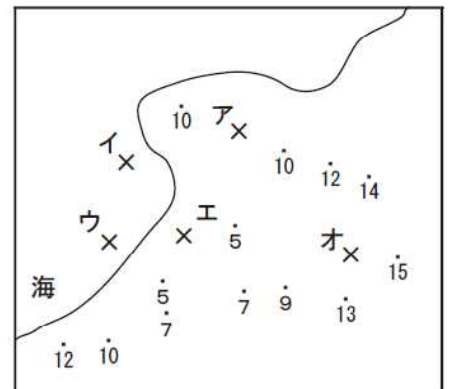
(出典:気象庁ホームページ)

1 初期微動が始まってから主要動が始まるまでの時間を何というか。名称を答えよ。

2 図1に、震央を表したものが図3である。ア～オのうち、この地震の震央を表しているのはどれか。最も適当なものを1つ選んで、記号で答えよ。また、そのように考えた理由を図3を使って簡潔に書け。ただし、解答は解答用紙中に書くこと。

記号:

理由:



3 図2の緊急地震速報についての説明として正しくないものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

- ア 地震波であるP波とS波の伝わる速さには差があることを利用している。
- イ 震源に近い地域では、速報が間に合わないこともある。
- ウ 地震が発生した際に生じる主要動をコンピュータで分析し、震度を予測する。
- エ 緊急地震速報は携帯電話等への速報メールでも知ることができる。



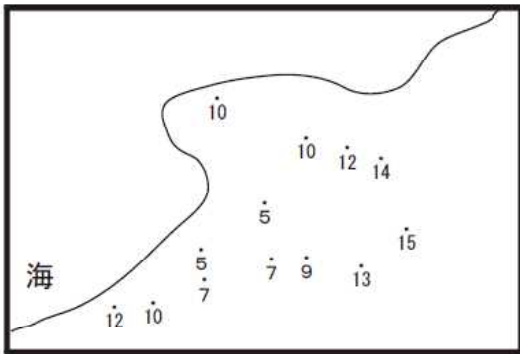
霧島市「今週の1問」
 (中2)(理科)(6)月(1)日版
 H29鹿児島学習定着度調査問題から

名前

図1はある地震が発生したときの、震央と各観測点のゆれ始めの時間差を示しており、また、図2は地震発生から緊急地震速報の仕組みを表しています。なお、緊急地震速報とは、大きなゆれが始まる時刻や震度を予測して、すばやく知らせる予報や警報のことです。次の各問いに答えなさい。

図1 震央と各観測点のゆれ始めの時間差

図2 [緊急地震速報の仕組み]



- ① 地震発生により、波が周囲に伝わる。
 - ② 震源近くの地震計がP波をとらえる。
 - ③ 気象庁は予想震度などを計算し、緊急地震速報を発表する。
 - ④ 気象庁の発表を受けて、テレビなどで緊急地震速報が流れる。
- (出典:気象庁ホームページ)

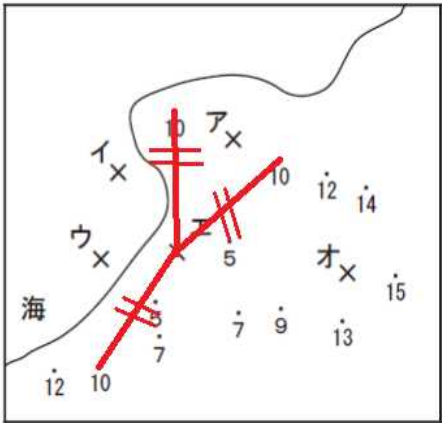
1 初期微動が始まってから主要動が始まるまでの時間を何というか。名称を答えよ。

初期微動継続時間

2 図1に、震央を表したものが図3である。ア～オのうち、この地震の震央を表しているのはどれか。最も適当なものを1つ選んで、記号で答えよ。また、そのように考えた理由を図3を使って簡潔に書け。ただし、解答は解答用紙中に書くこと。

記号: エ

理由: 震央とのゆれ始めの時間差が同じ地点から、同じ長さにあるところが震央となる。



3 図2の緊急地震速報についての説明として正しくないものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

- ア 地震波であるP波とS波の伝わる速さには差があることを利用している。
- イ 震源に近い地域では、速報が間に合わないこともある。
- ウ 地震が発生した際に生じる主要動をコンピュータで分析し、震度を予測する。
- エ 緊急地震速報は携帯電話等への速報メールでも知ることができる。

ウ